

令和7年度第1回米子市国民健康保険運営協議会（概要）

○ 開催日時 令和8年1月21日（水） 午後1時30分～2時45分

○ 開催場所 米子市役所5階 議会第2会議室

○ 出席者

（1）米子市国民健康保険運営協議会委員

（会場出席）松山委員、広戸委員、荒松委員、藤瀬委員、田本委員、小原委員、足立委員、
景山委員、深堀委員、天野委員、森田委員、

（Web出席）大石委員

（2）事務局

米子市市民生活部 橋尾部長

米子市保険年金課 日浦課長、白鳥課長補佐、永野室長、土橋係長

米子市収納推進課 大野原課長、宇津宮課長補佐

（3）傍聴者

なし

○ 会議要旨

1 開会（1:30）

【会議の成立】

委員総数 15名中 12名の出席であり、会議の定数に達しているため本会議は成立している。

2 市長あいさつ

3 委員等紹介

【委員紹介】

【事務局紹介】

4 会長及び会長職務代行者の選出

会長に天野委員、会長職務代行者に景山委員が選出された。

5 会長あいさつ

6 諮問

諮問事項 令和8年度国民健康保険料率等の改定について

7 会議録署名委員の指名

会長より、広戸委員と荒松委員が指名された。

8 報告

【国民健康保険の事業状況について】

資料1、資料2、資料3、資料4について事務局から説明

【質問・意見①】

歳出の基金積立金は歳入ではないのか。基金と単年度収支の額で収支を考えるべきではないのか。

また、単年度収支の後に基金に入れたという説明の方がわかりやすい。

【事務局】

単年度収支は歳入の⑤繰越金を除いた金額で考えている。基金積立は年度途中で実施のため支出としている。

【質問・意見②】

令和2年に保険料の値上げをした後、黒字となっている。来年度基金と繰越金見込みの11億円で保険運営できる事を踏まえ、今回値上げをするべきか考えるべき。基金の積み立てに法的な制約はあるのか。

【事務局】

ない。昨年度から安定的な国保運営を図る目的で、決算余剰金の半分を基金積立し、9億円を目標に積立てをしている。

9 諮問事項協議

【令和8年度保険料率等の改定について】

資料5、資料5-1、資料5-2について事務局から説明

【質問・意見①】

来年度も黒字が出ると考えていいのか。

【事務局】

診療報酬の改定や国庫補助金、県への納付金等外部要因の見通しが立たないのではっきりとしたことは言えない。

【質問・意見②】

収支から考え、余裕があると見受けられる。子育て支援金が始まるので値上げの時期だということもわかるが、物価高騰の状況の中今やるべきかどうかと思案する。

【質問・意見③】

わかる範囲で、想定されることや見込を示すことはできないのか。限度額の引き上げもあり、歳入の減少も考えられる。

【事務局】

軽減についての試算はしていない。子育て支援金の影響に関しては、令和8年度については歳入見込みが8千万円程度の減少になるのではないかと推測している。また、値上げをしない場合でも、2年程度は基金を積んでも余剰金が出るのではないかと推計を持っているが精度の高いものではない。

【質問・意見④】

積立てをしても余剰金が予測されるのであれば、今値上げしなくても任期中継続して審議してはどうか。

【会長】

各委員から意見を頂戴したい。

【意見①】

1年様子をみてはどうか

【意見②】

急激に保険料が上がるのも困る。少しずつ計画的に上げてはどうか。

【意見③】

少々上がっても仕方ない。事務局に一任したい。

【意見④】

米子市の実態から資料5-2案でもいいかなとも思うが、予測できない医療費を考えると資料5-1案でもいいのかな、と思う。

【会長】

いろいろ意見が出たが、会として基本的な回答を出すため民主的に多数決としたい。

—意見なし—

【多数決結果】

諮問事項① 全員承認

諮問事項② 全員承認

諮問事項③ 資料5-1案に賛成 3人 資料5-2案に賛成 8人

【会長】

諮問事項③について、本協議会の意見としては、「県への納付金と令和8年度保険料について、子ども支援金納付金分については県の示す標準保険料率、支援分及び介護分については保険料を据え置き、医療分については子ども支援納付金分の料率分を差し引くという資料5-2案」のとおりということとしたい。

—異議なし—

【会長】

会としての意見は決まったが、値上げという意見もあったので1年様子をみて、令和8年度決算見込みが出た段階で、継続して議論するということを付帯したい。

—異議なし—

10 その他

なし

11 閉会